

令和4年度一般会計当初予算

総額 **455億4,700万円**

実質的な予算額 **384億8,531万円** (前年度比 8.4% 増)

これまでの対策

昨年度は、第2次燕市総合計画に掲げる「3つの人口増戦略」を柱に、①「感染症対策の継続」、②「地域社会のDX推進」、③「新たな地方創生の推進」を重点に市政運営を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響に対し、状況変化に迅速かつ的確に修正予算を編成し、市民生活や地域経済を支えるさまざまな対策を講じてきました。

長引く感染症の影響

しかしながら、感染症の収束は見通せない状況であり、長引く感染症の影響の下、歳入では、自主財源の根幹である個人市民税や法人市民税は複数年にわたり大幅な減収が見込まれます。歳出では、感染症対策の継続経費に加え、デジタル社会、脱炭素社会の実現などにも取り組む必要があります。このほか、公共施設の老朽化対策、社会保障関連経費の増など、これまでの

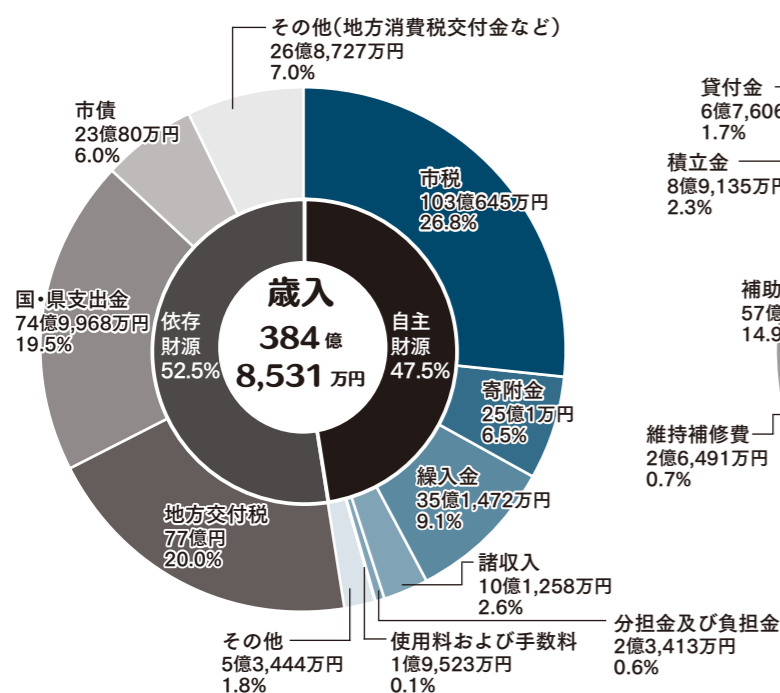
財政負担の増加要因が相まって、本市の財政状況は厳しさを増しています。

予算編成の基本方針

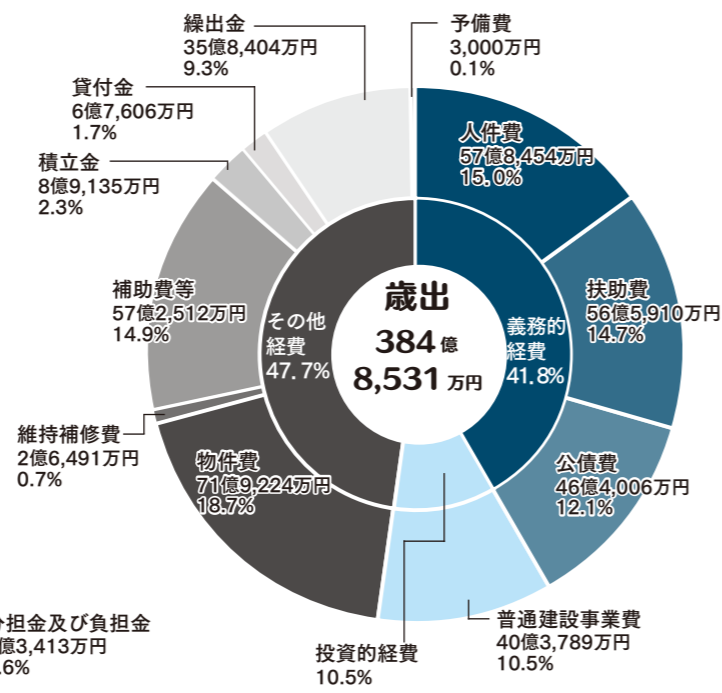
令和4年度の当初予算は、こうした厳しい状況下にあっても、感染症の苦難を乗り越え回復を図り、新たな時代にも柔軟に対応し未来を切り拓くことをテーマに、第2次燕市総合計画に掲げる「3つの人口増戦略」を柱として、①「フェニックス11+（イレブンプラス）」の継続による社会経済活動の回復、②「変化する社会環境に対応した地域社会のDXと脱炭素社会の推進」、③「未来につながる新たな地方創生で地域活性化」の3つの重点施策を積極的に展開します。

さらに、通水100周年の節目に「大河津分水通水100周年事業」を実施し、子どもたちが未来への夢や、ふるさとへの誇りを持つ「日本一輝いているまち・燕市」の実現を目指します。

歳入の状況



歳出の状況 (性質別分類)



用語説明

実質的な予算額… 借入額と返済額を歳入歳出同額で予算計上している借換債分を除いた実質的な予算規模
 自主財源… 市が自ら徴収または収納できる財源
 依存財源… 国または県などから収入される財源
 義務的経費… 支出することが義務付けられている経費支出すること
 投資的経費… 道路や施設などの整備に要する経費

当初予算内訳

会計	予算額	前年比増減率
一般会計 (①+②)	455億4,700万円	13.9%
借換債①	70億6,169万円	57.5%
実質的な予算額②	384億8,531万円	8.4%
特別会計	173億4,282万円	3.4%
国民健康保険	71億6,041万円	2.1%
後期高齢者医療	9億8,021万円	3.0%
介護保険事業	91億1,528万円	4.3%
土地取得	8,691万円	23.8%
総額	628億8,982万円	10.8%

一般会計当初予算の推移 (実質的な予算額)

平成29年度	317億4,304万円
平成30年度	339億5,206万円
令和元年度	321億1,105万円
令和2年度	342億7,595万円
令和3年度	354億9,525万円
令和4年度	384億8,531万円

令和4年度の重点施策

未来を切り拓くことをテーマとした3つの重点施策と大河津分水通水100周年事業を展開し、「日本一輝いているまち・燕市」の実現を目指します。

【重点施策①】

フェニックス11+の継続による社会経済活動の回復

【重点施策②】

変化する社会環境に対応した地域社会のDXと脱炭素社会の推進

【重点施策③】

未来につながる新たな地方創生で地域活性化

【特別事業】 大河津分水通水100周年事業の実施

具体的な取り組みは、4～7ページをご覧ください。

令和4年度当初予算

令和4年度の一般会計当初予算の総額は、455億4700万円です。借入額と返済額を同額で計上している借換債を除く実質的な予算額は384億8531万円、国の経済対策による令和3年度補正予算繰越事業8億6076万円を合わせた執行ベースの予算額は393億4607万円であり、いずれも合併後でも大きい予算規模となっています。また、特別会計の総額は、173億4282万円であり、一般会計と特別会計の総額は628億8982万円、借換債を除く実質的な予算規模は、558億2813万円となっています。

詳しくは、ホームページをご覧ください



※DX(デジタルトランスフォーメーション)：社会全体の在り方をデジタル化に合わせて変革すること

重点施策② 変化する社会環境に対応した地域社会のDXと脱炭素社会の推進

感染症を契機に急速にデジタル化が進んでいる中、市民サービス、企業・農業者、市役所など地域社会のDXを推進します。また、脱炭素社会に向けての施策を実施するなど、SDGsの理念に基づいた持続可能な社会の実現を目指します。

地域社会のDX推進



◆市民サービスのデジタル化

新各種証明書のコンビニ交付サービスの開始 2,611万円
マイナンバーカードを利用し、各種証明書が取得できるサービスを8月1日(月)から開始します。



新軽自動車税の納税証明書電子化 376万円
車検時に必要な納税証明書を紙のものから電子化します。

新市民のデジタル格差解消事業
操作に不慣れな高齢者向けにスマホ教室を開催します。

◆企業・農業者のDX推進支援

新中小企業DX推進事業 2,574万円
燕版共用受発注システムの導入をはじめとした市内企業のDX推進を支援し、競争力強化を図ります。

●ECサイト販路拡大応援補助金 100万円
市内の農業者のECサイトへの出店費用などを補助します。



▲市政情報をお届けする燕市公式LINE

◆デジタル市役所の推進

新情報統計室の新設と専門の外部人材採用
デジタル分野に精通した人材を採用し、新体制で市役所のDXを推進します。

拡燕市公式LINEの機能強化 264万円
予約受付やアンケートなどの新たな拡張機能を追加します。

脱炭素社会の推進

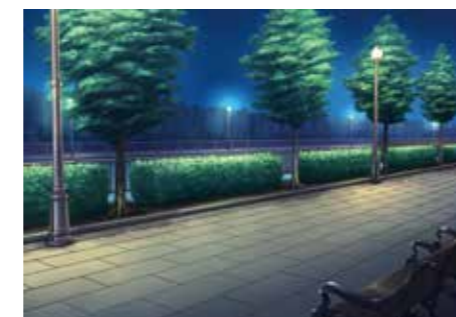


新SDGs(カーボンニュートラル等)促進事業 514万円
カーボンニュートラルをはじめとするSDGsに取り組む市内企業への助成制度を創設します。



新次世代エネルギー技術等活用可能性調査事業 1,644万円
脱炭素社会に向け、市内での風力等次世代エネルギーの活用可能性について調査します。

新住宅エコリフォーム支援事業 1,150万円
省エネ基準を満たす住宅を増加させ、地域全体でエネルギー消費量削減を推進します。



▲スマートライティングのイメージ図

新公園等スマートライティング設備整備事業 1億2,700万円
遠隔操作により調光操作ができるLED照明灯を92基設置し、エネルギー消費量の削減を図ります。

新指定ごみ袋のレジ袋化事業 30万円
市内協力店舗で、買い物時のレジ袋の代わりに指定ごみ袋を1枚からでも購入できるようにすることで、レジ袋の削減に取り組みます。

新:新規事業 拡:拡充事業 臨:臨時事業

「次の100年に向けて」先人たちの情熱をつなぎ、新たな成長の礎を築く 令和4年度の重点施策と主な新規・拡充事業

重点施策① フェニックス11+の継続による社会経済活動の回復

企業活動の活性化を図るとともに、落ち込んでいた消費の回復など社会経済活動と感染症対策を両立させ、感染拡大前の水準に戻すための取り組みをさらに進めます。

感染拡大防止策



●新型コロナウイルスワクチン接種事業 6億6,500万円
接種を希望する市民などへのワクチン接種を速やかに実施します。

拡市内企業感染症リスク管理支援事業 2,004万円

拡介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業 800万円
企業や介護サービス事業所向けに、PCR検査費用に加え、医療用抗原検査キット購入費用も助成対象に加ええます。



▲市内で行っているワクチン接種

産業支援策



●中小企業等持続化支援事業 7,501万円

新中小企業持続化計画策定支援補助金

拡信用保証料補給金
経営状況が悪化した事業者が、専門家の支援を受けて経営改善計画等を策定する費用を補助します。また、既存の信用保証料補給金に新たなメニューを加えます。

拡イノベーション拠点整備支援事業 1億1,768万円
ビジネススタイルの変化に対応し、首都圏などの事業者の誘致や市内でのシェアオフィス開設支援など、市内事業者とのビジネスマッチングを促進します。



▲開設されているシェアオフィス

消費喚起策



新燕応援フェニックスクーポン発行事業 1億6,781万円
第4弾となるクーポン券(一世帯あたり6,000円分)を6月初旬に発行し、市内の飲食・小売・サービス関連などの消費を喚起します。

拡つばめ食べて応援キャンペーン 600万円
市内農産物の消費活性化と販路拡大を図るキャンペーンを、昨年より規模を拡大して実施します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(エスディーゼーズ)は、平成27年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標のための2030アジェンダ」に記載された国際目標のことです。地域の人口減少対策や地域社会の持続的発展を目指している「第2次燕市総合計画」や「第2期燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、このSDGsの基本理念とおおむね合致しています。

これらの計画に基づく重点施策や各種事業を展開していくことで、SDGsの達成につなげていきます。

令和4年度特別事業 大河津分水通水100周年事業

100年の安心には200年の挑戦があった。人を想う心は力強く。

大河津分水通水100年を契機にあらためて先人たちの志や偉業を学び、分水路の恵みに感謝し、燕市の未来に向け、力強い想いをもっていただけるように記念事業を企画しました。



▲特設ページ



大河津分水 通水100周年
The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary

先人から学ぶ (CHOZENプロジェクト)



分水路の恵み



これからへつなく



100周年記念企画展【産業史料館】	大河津分水に関連した企画展を開催 第一弾(～5月15日(日))
100周年記念田んぼアート田植えイベント	吉田ふれあい広場脇と大河津分水さくら公園脇で開催 (吉田:5月14日(土)、分水:5月21日(土))
声優朗読劇「大河津分水にたずさわった先人たちの物語」	人気声優による、大河津分水の歴史を題材とした創作朗読劇を開催 (出演者・内容などの詳細公開は6月)
大河津分水インフラツアー	大河津分水の歴史や偉大さを知るツアーを造成(6月から順次実施)
成人講座燕大学「大河津分水」	長善館の門下生の通水までの奮闘についての講演会を開催 (7月～10月に3回開催)
オリジナルショップバッグ制作 【燕ジョイ活動部】	市内のイベントなどで使用する共通のショップバッグを若者と制作・配布(7月上旬完成予定)
大河津分水企画展 【分水良寛史料館・長善館史料館】	大河津分水をテーマに信濃川流域市町村が会期をつなぐ企画展を開催 (7月12日(火)～8月28日(日))
筑波大学による記念講演会	大河津分水通水を成し遂げた門下生の活躍について研究の成果の講演会を開催(8月～12月の間に開催)
人気長寿テレビ番組「開運!なんでも鑑定団」公開収録	公開収録により歴史と文化を発信(8月21日(日)収録)
ツイッター川柳コンテスト#100年	通水100周年をテーマとした川柳コンテスト、パネル展を開催 (8月25日(木))
大河津分水サクスフェスタ 【大学生連携 川の魅力発信】	新潟経営大学や民間団体と協働で市内外の人々が楽しめるイベントを開催 (8月27日(土))
大河津分水通水100周年記念花火	大河津分水を会場に盛大に打ち上げ(8月27日(土))
桜並木復活プロジェクト	通水時に植樹された桜並木の復活を目指し、植樹祭を開催 (8月27日(土))
プレミアムキッチン～大河津分水の恵みを味わう～	分水路の恵みである食材と産産を料理を通して堪能できるイベントを開催 (8月27日(土))
記念川下り体験	河川の知識を学び、大河津分水を出発する特別記念川下りを実施 (8月27日(土))
産業・農業まつり	通水により発展した地域の農産物や工業製品の販売・PRイベントを開催 (9月25日(日))
100周年記念田んぼアート稲刈りイベント	吉田ふれあい広場脇と大河津分水さくら公園脇で開催 (分水:9月25日(日)、吉田:10月上旬)
記念給食メニューの作成	川の恵みもたらした燕産食材を使用したメニューを作成 (10月下旬予定)
ものづくりみらい100年フォーラム	次の100年を見据えた未来志向型経営をテーマに講演会などを開催 (10月下旬以降予定)
偉人漫画制作事業	長善館創設者「鈴木文臺」の功績を題材とした漫画を制作 (令和5年3月完成予定)
郷土史燕～大河津分水特集号～	郷土史書『郷土史燕』の、大河津分水特集号を刊行 (令和5年3月予定)
小売商業みらい100年事業	通水100周年をテーマとした商店街での消費喚起イベントへの支援
長善館学習塾	小学生が大河津分水を学びながら、動画を制作し、コンテストに出品
先人の歴史実地学習促進事業【モデル校市内小中3校】	先人の偉業や地域のつながりについて研究、発表
信濃川大河津資料館見学事業	小学4年生を対象に郷土の歴史や大河津分水に触れながら学ぶ機会を創出
大河津分水関連史跡・文化財説明板整備	大河津分水に関連した史跡・文化財の説明板などを整備
分水マンホールカードの作成	分水マンホールカードを作成し、記念品とともに配布

※イベントなどの開催日は変更になる場合があります。また、各イベントの詳細は広報やホームページなどでお知らせします。

新:新規事業 拡:拡充事業 臨:臨時事業

重点施策③ 未来につながる新たな地方創生で地域活性化

市の最上位計画である第3次総合計画を新たに策定します。また、道の駅国上リニューアルやスケートボード場の新設などを通じて、人の流れを活性化させ、感染症の影響により落ち込んだ「活動人口」、「交流・応援(燕)人口」を回復させます。

「ツバメ」の未来をつくる計画策定



人口減少、DX、脱炭素、分散型社会、ダイバーシティ、災害の激甚化など日々変化する社会状況を的確にとらえるとともに、SDGsの理念に基づいた持続可能なまちづくりを推進するための礎となる各種計画を策定します。

- 臨 第3次燕市総合計画の策定 145万円
- 臨 まちづくりマスタープランの策定 1,187万円
- 臨 第2次燕市行政改革推進プランの策定 35万円

新たに人の流れを生み出す施設整備



- 新 全天候型子ども遊戯施設整備事業 5億7,254万円
暑い夏や寒い冬など天候に関わらず、子どもたちが体を動かせる遊戯施設を令和6年のオープンに向けて整備します。(建設予定地:大曲地内)
- 新 スケートボード場整備事業 2,860万円
スポーツランド燕内にスケートボードの人気の高まりを受け、愛好者が安全に楽しめるようスケートボード場を整備します。
- 新 道の駅国上リニューアル 2,600万円
新たな指定管理者のもと、キャンプ場やフードコンテナの整備など魅力ある施設に改修し、7月1日(金)にオープンします。



▲スケートボード場のイメージ

新たな燕ファンの獲得



- 新 大河津分水インフラツアー 200万円
大河津分水にまつわる観光ポイントを巡るツアーを行う旅行事業者などに対しその経費を一部補助します。
- 臨 応援(燕)人口拡大創出事業 1,397万円
新たな体験・交流プログラムを提供し、市外県外の燕市の応援(燕)人口拡大を図ります。
- 臨 まちあそび学会(仮称)の開催(つばめ若者会議事業) 322万円
市内外の高校生や学生、教職員を対象にイベントを開催し、燕市の若者が楽しみながらまちづくりに携わる手法をブランド化して発信します。



▲まちあそび部の活動風景

ふるさと燕応援寄附金の充当事業

ふるさと納税による寄附金は令和4年度の新規・重点事業などに総額26億3,800万円を活用します。

寄附の使い途	令和4年度 主な充当事業	充当額
産業の振興	地場産業販路開拓事業、チャレンジ・ファーマー支援事業、燕・弥彦広域観光連携事業 など	1億5,855万円
教育の振興	情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト、ゆめみらいスポーツ教室 など	1億9,845万円
福祉	子ども医療費助成事業、妊産婦医療費助成事業、病児・病後児保育事業 など	6,510万円
環境の保護	公園等スマートライティング設備整備事業、住宅エコリフォーム支援事業 など	8,400万円
燕市の魅力発信	シティプロモーション事業、応援(燕)人口拡大創出事業、つばめ若者会議事業 など	2,205万円
市長におまかせ	大河津分水通水100周年事業、つばめ子育て応援カード事業 など	5億2,185万円

デク ライ ン グ ブ ラ ン ド フ ァ ン	寄附の使い途	令和4年度 主な充当事業	充当額
	小学校等のエアコン整備事業償還金	令和元年度小学校などのエアコン整備事業に係る市債の償還金	3,600万円
	スポーツ施設の改修など	吉田トレーニングセンター(ビジョンよしだ)大規模改修事業	7億2,100万円
	新型コロナウイルス感染症対策	中小企業持続化支援事業、燕応援フェニックスクーポン発行事業など	2億5,800万円
	全天候型子ども遊戯施設整備事業	全天候型子ども遊戯施設の整備	5億7,300万円